

養蚕演劇

こ
か
げ
さ
ん
も
の
が
た
り

蚕影様物語

原作／森田哲夫、新木猛史
出演／公募市民
脚本・演出／岡本優子

2023年 3月12日(日)

開場／13:30 開演／14:00

会場／箕郷文化会館

Tel. 027-371-7211

主催／高崎市

後援／ラジオ高崎

入場料／500円(全席指定)

3歳以上有料(3歳未満でも席が必要な場合は有料)

チケット発売日／2023年1月6日(金)10:00～

◆プレイガイド／A 高崎芸術劇場チケットセンター、B 群馬音楽センター、C 高崎市文化会館、D 高崎シティギャラリー、E 箕郷文化会館、F 新町文化ホール、G 榛名文化会館、H 吉井文化会館、I 高崎市倉渚支所(地域振興課)、J 高崎市群馬支所(地域振興課) ●受付時間／8:30～17:15(Aのみ10:00～18:00) ※発売日は10:00からとなります。

●プレイガイド定休日／A・D=なし、B・C=月曜、E・F・G・H=月・火曜、I・J=土・日曜・祝日

●電話予約は発売日翌日より受付いたします。また電話予約の受付は箕郷文化会館のみとなります。他のプレイガイドでは電話予約での受付はいたしておりません。●やむを得ず公演中止、または日程、内容が変更となる場合がございます。●チケット購入の際には、中止や延期のご連絡をさせていただくため、お名前、お電話番号を確認しております。ご協力お願いいたします。●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等はいたしかねますのでご了承ください。●駐車台数に限りがありますので、乗り合わせでのご来場にご協力ください。公演当日の状況によっては、詰込駐車をお願いすることもあります。

□公演にあたって ●新型コロナウイルス感染症について、政府・自治体・関係諸機関から示される正確な情報収集に努めるとともに、感染拡大防止に細心の注意を払い公演を開催いたします。●開催におきましては、適切な安全対策を講じてまいります。ご来場のお客様にも、会場内における感染拡大防止へのご協力(検温やマスク着用や手指消毒等)をお願いいたします。なお、換気のためドアを開放して公演を実施する場合がありますので、当日の天候に応じた服装のご用意をお願いいたします。●感染拡大防止のため、ご来場者のお名前と連絡先は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。●当日、体温 37.5℃以上の熱がある方や体調に不安がある方のご来場はお控えください。●出演者等への声援、出待ち、入待ち等はお控えください。



Takasaki City Misato Cultural Center

箕郷文化会館

〒370-3102 群馬県高崎市箕郷町生原 922-1

tel. 027-371-7211

養蚕演劇

こかげさんものがたり

蚕影様物語

あらすじ

雷光ひらめき
雹二尺も降り注ぎ
あたり一帯氷の海と化し

明治期の箕郷地域にある養蚕農家。家族みんなで大切に蚕を育てています。そこで暮らす天真爛漫な少女トヨは繭が沢山とれたら新しい着物を買ってもらえると大張り切り。しかしそんなある日、晴れていた空が急に暗くなり、雷光がひらめき、雹が二尺も降り注ぎ、あたり一帯は氷の海と化し、桑畑が大打撃を受けました。この一帯は養蚕農家が多く、三眠（ふなやすみ）となる前で、桑の葉がないと、お蚕の飼育を続けることはできませんでした。村人たちは涙ながらに生きてきたままのお蚕を土の中に埋め、その供養とこの時の惨状を後世に伝えるため「蚕影碑」を建てました。

この演劇では雹害による惨状と先人の生き様を再現し、養蚕、そして群馬の発展の影には、様々な困難とそれを乗り越えてきた歴史があることを伝えます。



柏木沢の蚕影碑

—脚本・演出— 岡本優子



高崎市箕郷町在住。箕郷地域に伝わる民話、逸話などを、演劇活動を通して継承することで文化的に豊かな地域作りに寄与する活動を行なっている。みのわの里のきつねの嫁入り実行委員長。箕郷文化会館では、平成 26 年度に演劇「きつねの嫁入り」、令和元年度には演劇「桜姫と白蛇伝説」を手掛けた。養蚕演劇「蚕影様物語」は、平成 13 年度、平成 27 年度に続き箕郷文化会館では 3 回目の公演となる。

主な登場人物

森田家

祖父	徳太郎	父	嘉一郎	長女	フミノ
祖母	ナカ				
				三女	

佐藤家

母	リン	長男	武造
		長女	ナミ

養蚕教師夫妻、不動寺和尚 他

